

中野市誌

歴史編 後編 目次

口 絵

監修のことば

例 言

東京学芸大学教授 市川健夫

第一編 明治時代の中野

概 観…………… 3

第一章 郡制・町村制の展開…………… 5

第一節 行政のうつり変り…………… 5

一 明治維新の変革と中野県…………… 5

中野県の設置 5 中野県から長野県へ 7 戸籍区の設置 9

大区小区の設置 10

二 郡役所と戸長役場…………… 12

下高井郡役所の設置 12 戸長役場の設置 13

	連合戸長役場の開設	15	栗和田の分離問題	16
三	町村制施行と新町村	18	合併した新町村	21
	町村制施行の経過	18	日野村より小田中の分離	21
四	郡分合問題	25		
	市川郡の設置案	25	郡分合の反対運動	26
五	諸官庁の設置	28		
	中野警察署の設置	28	中野税務署の開設	29
	長野地方事務局中野出張所の開設	30		
第二節	政治への参加	31		
一	地方自治の展開	31		
	町村会の発足	31	郡会の開設	35
			県会の開会	37
二	中野地方の政治活動	39		
	議員の選挙	39	政党の活動	44
			地方新聞の発刊	47
第二章	産業経済の近代化	50		
第一節	地租改正と近代土地所有	50		

一	地租改正の実施	50
	土地売買の自由と壬申地券	50
	中野地方における地租改正	54
	地租改正と農民	62
二	林野の改租と官民区分	68
	林野に対する新課税	68
	山林の官民有区分の実施	69
第二節	殖産興業政策と産業の進展	73
一	強い勸業指導	73
	国・県・郡役所の勸業指導	73
	農会の発足	79
	産業組合の結成	82
二	明治前期における産業経済	84
	諸産業の発展	84
	産業の地域別考察	89
三	明治後期における産業経済	98
	稲作の発展	98
	畑作の推移	106
	養蚕の急速な進展	112
	蚕種製造の発展	119
	蠶業取締所下高井支所の設置	121
	産馬奨励と畜産振興	122
	林業の進展	124

四 製糸業の勃興……………128

明治の座繰製糸 128 中野器械製糸場の設置 129

中小器械製糸の推移 132

五 在来工業の推移……………136

綿布・白紬などの生産 136 六軒町の竹細工 138

蛾箱製造の発展 140 酒類などの醸造 141

第三章 交通通信の発達と商業……………145

第一節 近代交通の発展……………145

一 信越本線の開通と運輸業の推移……………145

鉄道開通前後における交通の変化 145 自動車交通 148

豊中鉄道の建設計画 149 千曲川通船事業の衰退 152

二 中野町をめぐる交通の整備……………155

郡道路の拡充整備 155 中野町内の道路整備と里道 159

渡し船から船橋架設へ 160 船橋より木橋架設への動き 162

千曲川の各渡船場と船橋 164 夜間瀬川にかけられた木橋 166

第二節 郵便通信業務の整備……………168

一 郵便局の開設と郵便業務……………168

	中野郵便局の設立	168	町の発展と郵便業務	169
	科野郵便局と延徳郵便局	169		
二	電信電話の開設	172		
	電信業務の開始	172	電話の開通	174
	第三節 商業の発展	174		
一	中野商店街の繁栄	174		
	鉄道開通と商品流通	174	諸營業事始め	179
	風俗營業の發展と中野温泉	183		
二	銀行・会社の設立	185		
	中野銀行などの設立	185	商事会社の設立	188
	第四章 人口動態と社会問題	191		
	第一節 新しい戸籍と人口の動き	191		
一	新しい戸籍	191		
	宗門人別帳から壬申戸籍へ	191	戸籍からみた家族構成	193
二	戸数と人口	198		
	戸数と人口の変化	198	性別・年齢別の人口構成と移動	199

第二節 庶民の生活 214

一 農村の社会生活 214

農家の暮し 214 村落の社会関係 220

二 町の社会生活 222

商家と職人の暮し 222 町の社会関係 224

第三節 保健衛生と伝染病 229

一 保健衛生 229

飲用水の水源 229 庶民の食生活 232 漢法と西洋医術 235

医療信仰 236 種痘とトラホーム検査 240

二 伝染病の流行 242

コレラ・赤痢の流行 242 衛生組合の活躍 246 避病院の設置

第四節 戦争と地域の生活 250

一 戊辰の役と西南戦争 250

戊辰の役と中野 250 徴兵制の施行と西南戦争 251

帝国軍制の確立と徴兵検査 253

二 日清、日露の戦争……………	256
兵士の入営と出征……………	256
軍人救護と戦死・傷病兵……………	260
献金と物資の供出……………	258
三 地域の組織化と生活……………	262
兵役優待会・尚武会・軍人同志会・在郷軍人会……………	262
青年会と婦人会の結成……………	264
赤十字社と貧窮者の救済……………	268
第五章 自然災害と防災制度……………	271
第一節 千曲川などの水害と防災制度……………	271
一 延徳沖及び千曲川沿岸の水害状況……………	271
延徳沖の水害……………	271
夜間瀬川の水害……………	272
二 水害防除への努力……………	275
今井新堀川の大工事……………	275
夜間瀬川の水防工事……………	281
延徳沖治水期成同盟会の事業……………	278
第二節 防災組織の整備……………	283
一 消防組の制度……………	283
消防組織のおこり……………	283
消防組の公設……………	284
岳南消防同盟会……………	287

二	河川法の施行と水防	290
	河川法の施行と水防組織	290
第三節	その他の自然災害	292
	霜害・雹害・風害など	292
第六章	新しい教育制度と文化	294
第一節	新しい教育制度	294
一	小学校教育の創設	294
	学制頒布のころの学校	294
	学務委員の役割	299
	小学校の設立と教育内容	297
二	義務教育の充実	301
	下高井高等小学校の設立	301
	尋常小学校の発足	303
	教育勅語と御真影	305
	子守学校の開設	307
	下高井教育会の結成	310
三	中等教育の創設	313
	長野中学校中野分校問題	313
	下高井機業伝習所の開設	315
	実業補習学校始る	317
	下高井農蚕学校の設立	319
四	社会教育の創設	320

教導職とその実情	320
青年夜学会の開設	322
中野文庫の創立	324

第二節 宗教界と文化……………326

一 神仏の分離……………326

廃仏毀釈と中野の寺院	326
社寺領の上知	327

二 神社の変遷……………329

社格の決定	329
神社の合併	330

三 郷土の芸術家……………331

歌人高梨政道	331	画家関長年	332	画家町田曲江	333
画家菊池契月	334	画家金井広章	335		

第二編 大正時代の中野……………

概観……………339

第一章 大正デモクラシーの動き……………341

第一節 政府の専制支配に対する民衆の動き……………341

一 警廃事件と中野……………341

	事件の発生	341	反対運動の展開	343	県民大会と騒擾事件	345
	検挙処分と警察署の復活	347	中央政府の反応	350		
二	デモクラシーへの目覚め				353
	大正デモクラシーと中野	353	普通選挙法施行と地方自治	354		
	米騒動と中野	356				
三	部落解放運動と中野				359
	日野覚醒会と融和運動	359	同仁会支会の結成	360		
四	自主青年団の活動				363
	青年会の設置と組織の広がり	363	青年修業の場としての活動	366		
二	第二節 地方自治の変遷				368
一	郡制の廃止と事後処理				368
	郡制下における地方行政	368	郡制廃止と善後処置	372		
二	第二章 全盛期の蚕糸業				375
一	第一節 農業経営の発展				375
	一 養蚕の移り変り				375

	養蚕の発展と夏秋蚕飼育	375
	養蚕組合と特約組合	377
二	稲作を中心とした耕種農業	379
	稲作技術の発展	379
	地主制と小作慣習の推移	381
	畜産と安源寺の馬市	384
三	地域に適した特殊産業	387
	ホップ栽培の導入	387
	杞柳栽培の由来	389
	特産品の干柿	393
第二節	農会と産業組合の発展	395
一	系統農会とその活動	395
	郡農会組織と活動	395
	町村農会の活動	396
	農事小組合の組織と活動	397
二	産業組合の活動	400
	産業組合法の変遷	400
	郡制廃止と産業組合	401
	町村の産業組合	404
第三節	製糸業と在来工業	406
一	製糸業の発展	406
	組合製糸の由来	406
	高井製糸工場の誕生	409
	組合製糸工場の役割	407

	二 在来の家内工業	412
	西条の機業	412
	杞柳細工業	413
	第三章 長野電鉄の開通と中野の商業	416
	第一節 長野電鉄の開通	416
	一 長野電鉄の沿革	416
	河東鉄道の開設	416
	信州中野駅の開業	418
	長野電気鉄道の開業	417
	二 長野電鉄の利用状況	419
	創立当時の営業状況	419
	経済文化を發展させた長野電鉄	421
	第二節 中野町の商業	422
	一 中野商業会の組織と活動	422
	商業会会則と運営	422
	二 長野電鉄開通と商取引の変化	424
	電鉄開通前後の商品変化	424
	第四章 社会資本の充実と消費生活	426

第一節 上水道と電燈の普及……………426

一 中野町の上水道……………426

待望の上水道 426 工事の完成と給水利用状況 427

二 村部における生活用水……………430

共同井戸による利用 430 湧泉の利用のしかた 431

八ヶ郷水利組合と用水堰 432

三 信濃電気による点燈……………434

電灯のついたころの状況 434 電灯利用上の契約 435

第五章 大正時代の教育と文化……………436

第一節 学校教育の充実……………436

一 小学校教育の進展……………436

就学督励と就学率の向上 436 自由教育と教育内容の充実 438

修学旅行と学校行事 444 教育施設と教育予算 446

二 中等教育の展開……………450

飯山中学校の設立と進学者の増加 450 中野女学校の開設 453

郡立農商学校の県移管 455

三	青年の軍事教育	457
	徴兵検査と壮丁試験	457
	青年訓練所の設置	460
第二節	大衆文化の高揚とマスコミの発達	462
一	社会団体の活動	462
	婦人会活動の発展	462
二	中山晋平と中野小唄	463
	中山晋平と中野	463
	中山晋平の新民謡	467
三	地方広報と新聞事業	472
	下高井郡報の発行	472
	地方新聞の発達	474
第三編	昭和前期の中野	
	概観	479
第一章	昭和恐慌とその対策	481
第一節	昭和恐慌とその対策	481
一	大恐慌の発生と町村	481

	經濟恐慌の推移	481	恐慌下の町村財政	485
	町村における対策と住民	490	商工業の衰退	492
	二 救農土木事業の進行	495		
	失業対策土木事業	495	夜間瀬川堤防工事の進行	497
	道路工事の進行	499	延徳沖治水と救農土木工事	501
	第二節 經濟更生運動の展開と産業組合	504		
	一 經濟更生運動	504		
	町村における經濟更生計画の成立	504		
	經濟改善委員会による施策	505	經濟更生運動の展開	507
	恐慌と産業組合の動き	509	小作農の増加と自作農制度	512
	二 農村の負債整理運動と満州移民	515		
	農村の窮乏と負債整理政策の展開	515		
	満州移民政策と高社郷の建設	518		
	第三節 農業轉換政策	520		
	一 養蚕業の衰退と米麦の増産	520		
	桑園の整理と養蚕経営	520	主要食糧の増産と統制	523
	下高井農業倉庫と米穀の販売統制	527		

二 果樹農業と畜産の発展……………528

果樹栽培の発展 528 工芸作物と野菜栽培 531 畜産の振興 535

第四節 商工業の衰退と合理化……………539

一 製糸業の衰退……………539

営業製糸と中野社の衰退 539 高井製糸場の変遷 540

蚕種業の衰退と合理化 544

二 商業活動の停滞……………547

銀行の合併と系列化 547 信濃銀行の倒産と金融 548

商工業の不況対策と反産運動 550

第二章 恐慌下の教育と生活……………553

第一節 恐慌下の教育問題……………553

一 恐慌下の義務教育……………553

欠食児童の出現と給食 553 郷土教育の展開 555

教育の変化と施設の充実 557

二 中等教育の対策……………559

中等学校志願者減と対策 559 中野商業学校の成立 562

産業組合科の設置 564

第二節 恐慌下の社会生活……………566

一 政治と社会生活……………566

政党政治の動き……………566 村や町の人々の暮らし……………570

恐慌期の文化活動……………574

二 青年団と労農運動……………577

青年団の運動……………577 恐慌下の農民運動……………580 高井製糸の争議……………581

第三章 日華事変から太平洋戦争……………583

第一節 戦争と市民の動員……………583

一 軍事体制と戦争動員……………583

満州事変から日華事変……………583 太平洋戦争と市民……………587

二 戦争協力の実情……………589

国民精神総動員の強化……………589 防空軍事訓練や金属回収……………590

部落会・町内会・隣組の実態……………593 勤勞奉仕と勤勞動員……………595

第二節 翼賛体制と諸団体の動き……………597

一 翼賛体制の確立……………597

翼賛会支部の設立……………597 翼賛壮年団の活躍……………599

翼賛選挙の実態 600

二 社会団体の動き 602

婦人団体の動き 602 青少年団の動き 605

第四章 戦時統制と市民の生活 608

第一節 経済統制の強化 608

一 農業生産の統制 608

作付統制と供出割当の強化 608 食糧増産と開墾 610

二 中小企業の整備 613

米穀・燃料などの整備 613 繊維・雑貨などの整備 615

第二節 戦時下の行政と警察 616

一 下高井地方事務所 616

經濟部出張所から地方事務所へ 616 地方事務所の行政 618

二 中野警察署 619

警察制度の戦時化 619 統制経済の取り締まり 621

第三節 戦時下の教育と生活 622

一	教育の統制……………	622
	青年学校制度の義務化……………	622
	興亜教育と義勇軍の送出……………	626
	疎開児童の受け入れ……………	629
二	窮乏の生活……………	632
	衣料切符と衣生活……………	632
	戦時下の住生活……………	637
	食糧配給と食生活……………	635
	第四編 昭和後期中野……………	641
	概観……………	641
	第一章 占領政策と民主化……………	643
	第一節 終戦と戦後の中野……………	643
一	終戦時の中野……………	643
	八月十五日の中野……………	643
	混乱とデマの横行……………	644
二	戦時体制の解体……………	645
	インフレ下の町村財政……………	645
	貨幣の切替と預貯金の封鎖……………	647
三	海外引揚者と救貧対策……………	648

海外引揚者の状況と援護活動 648 終戦後の生活困窮者の救済 651

第二節 復興と民主化への努力……………652

一 占領政策と民主化への動き……………652

公職追放 652 農村民主化と婦人参政権 653

政治団体と労農団体の結成 654

二 占領軍の指令と民主化……………655

自治法の制定と地方選挙の施行 655 自治体の機構改革 658

戦時中の統制組合等の解散 659 奉安殿の解体と神社社格の廃止 659

農民の反税闘争 660

三 新憲法の制定……………662

新憲法制定と地域住民の反響 662 新民法と家庭生活の変化 663

四 農地改革と農民……………664

第一次農地改革の着手 664 第二次農地改革の進展 665

農地改革後の農村の生活 667

農業会の解散と農業協同組合の設立 668 農業経営の状況 669

五 復興への努力……………670

中野自治警察署の設置及び廃止 670

第二章 中野市政の発足と市政の発展……………672

第一節 合併への経緯……………672

一 中野市発足と市政の発足……………672

合併前の各町村の動き……………672

合併の調印と協定事項……………675

中野市の行政機構の変化……………681

二 市政の実施に伴う選挙……………684

市長選挙……………684

市議会議員一般選挙……………685

第二節 市政の発展……………687

一 行政と財政……………687

財政事情と需要の要求……………687

道路整備など公共事業……………688

普通会計の決算推移……………690

市税の収納状況……………692

健全財政と計画支出……………693

市税所得と税金……………696

二 防災制度……………698

中野市の防災……………698

三 社会福祉施設の充実……………701

保育施設……………701

四	保健衛生の充実	703
---	---------	-----

三	国民健康保険制度と保健活動	703
---	---------------	-----

五	公共事業	706
---	------	-----

上水道施設	706
下水道計画	708

六	災害復旧	711
---	------	-----

風水害	711
-----	-----

第三章	高度経済成長下の中野市	715
-----	-------------	-----

第一節	新しい農政と農業	715
-----	----------	-----

一	中野市農業の進展	715
---	----------	-----

農業生産構成の推移	715
農業の地域分化と経営類型	719

農家の兼業化と階層分化	721
-------------	-----

二	農業近代化の動き	724
---	----------	-----

土地改良事業の進展	724
八ヶ郷用水組合の再編成	728

畑地かんがい事業の進展	730
農業構造改善事業の展開	733

農業の機械化	742
--------	-----

三	農業協同組合の組織	745
---	-----------	-----

	中野市農業協同組合の誕生	745	農協経営の発展と現状	746
第二節	農業生産の発展と停滞	748		
一	果樹農業の進展	748		
	果樹経営の多角化	748	りんご栽培の発展	754
	巨峰栽培の特産地化	757		
二	稲作の発展と生産調整	763		
	生産の拡大と単収増加	763	栽培技術の発展と管理の省力化	765
	生産調整と稲作の転換	768		
三	えのきだけ栽培の特産地化	770		
	えのきだけ栽培の導入	770	えのきだけ栽培の発展	773
	えのきだけ栽培の特色	777		
四	畜産と養蚕・工芸作物・そ菜	779		
	畜産経営の動き	779	養蚕・杞柳・ホップ栽培の推移	783
	アスパラガスの産地化	786		
五	伸び悩む林業	789		
	零細な私有林地の卓越	789	停滞する林業生産	790
第三節	工業の育成と工業化	793		

	一	工業生産の推移	824
		変化する工業構成	793
		工場誘致政策と企業拡大	795
		地場産業「杞柳細工」の衰退	802
	二	機械組立工業の展開	806
		精密・電機工業の卓越	806
		カメラ工業の生産体系	808
		労働力構成における特色	811
	第四節	商業近代化と観光	814
	一	商業および観光の発展	814
		商業の進展と経営	814
		中野の商圏の消長	817
		商業経営の近代化	818
		大型店の進出	819
	二	商工会議所の役割	820
		中野商工会議所の設立	820
		商工会議所の事業	820
	三	観光の発展	822
		観光事業の着手	822
		観光地とその利用	822
	第四章	人口と社会問題	824
	第一節	人口、世帯数の推移	824

一	人口動態	824
	人口の推移	824
	地区別人口	826
二	人口構成	830
	年令別・性別人口構成	830
	職業別人口構成	833
	産業別人口構成	832
第二節	住宅問題の深刻化	836
	公営住宅の建設と民間アパートの増加	836
	住宅事情の悪化	839
第三節	経済生活の変動と市民生活	841
一	消費生活と流通革命	841
	物価高の市民生活と流通過程の変化	841
	スーパーマーケットの進出	843
二	消費者運動	846
	生協の誕生と不買運動	846
	消費者行政の芽生え	847
第四節	高度成長と公害問題	849
一	公害の発生と苦情処理	849
	騒音・汚水などの苦情	849
	公害問題と住民運動	851

西条地区のカドミウム公害 852

二 公害行政 856

公害行政の組織 856 公害行政の推進 857

第五節 社会保障と社会運動の発展 859

一 社会保障の展開 859

国民年金制度 859 老人、児童の福祉 863

母子、身障者の福祉 866 生活保護、遺家族の援護と失業対策 868

二 社会運動の展開 870

労働組合と労働運動 870 農民組合と農民連盟 872

部落解放運動 874

第五章 交通、通信の発達 877

第一節 道路交通の整備拡大 877

一 道路の整備拡大 877

道路の新設と整備 877 永久橋と新架橋 881

二 バス交通の発達 887

中野駅を中心とするバス網 887 運行状況とバス台数の変遷 889

	市役所中心の時間距離圏	891
三	自動車交通の増加	893
	免許者数と乗用車の激増	893
	トラック輸送の発展	895
四	社会問題化した交通事故	898
	交通事故の増加	898
	交通安全対策	902
第二節	鉄道交通の整備	905
一	長野電鉄による輸送	905
	旅客輸送の変化	905
	貨物輸送の状況	906
	新設駅と停留所の無人化	909
二	国鉄による輸送	910
	国鉄車輛の長電乗入れ	910
	飯山線立ヶ花駅	911
第三節	通信の充実	914
一	電話の普及と利用状況	914
	一般電話の利用増大	914
	有線放送と農村生活	916
二	郵便業務の整備	918
	無集配特定局簡易郵便局の増加	918
	郵便業務と郵便物の取扱い	919

第六章 教育と文化……………925

第一節 戦後学校教育の諸問題……………925

一 混乱の教育界……………925

敗戦と軍国主義教育の排除 925 不備な教育条件 926

児童生徒の生活状態 928 教育委員会制度の変遷 930

二 六・三・三制度の発足……………932

教育内容の変化と改善 932 新制中学校の発足 933

新制高校と定時制高校 935

三 教育団体の動き……………936

教育会の動き 936 教員組合の動向 938 PTAの活動 940

四 教育条件の整備と新教育の展開……………942

七瀬学童問題と分校廃止 942 中学校の統合 944

学校給食実施と変遷 947 就学前の教育 949 特殊学級の設置 952

同和教育の進展 953 高校教育の推移 956

教育進展に伴う諸問題 958

第二節 社会教育と文化活動……………963

一	社会教育の誕生	963
	公民館活動の変遷	963
	図書館の変遷と活動	964
二	社会教育団体の活動	968
	青年団活動の変遷	968
	成果をあげる体育協会	971
	婦人会の動きと課題	969
三	宗教団体の動向	972
	仏教団体の活動	972
	キリスト教会の動き	975
	神道と祭り	974
	天理教の教団活動	975
四	活発な文化活動	976
	文化財の保護と保存	976
	テレビ普及と映画館	980
	特筆される文化活動	979
	地域新聞の発展	982
五	主要な民俗行事	984
	小沼のわら馬と餅替え	984
	シヨンシヨン祭	986
	ひな市と土びな	985
	祇園祭	986
	中野市年表	987
	あとがき	1003